

市民解説員が案内する市内探訪

～日本最古級の縄文遺跡を訪ねる～

前田耕地遺跡→二宮神社→二宮考古館

令和2年11月14日(土) あきる野市中央公民館

秋留台地は、北を草花丘陵、南を加住丘陵、西を伊奈丘陵に囲まれ、東は多摩川に面している。東西約7.5km、南北約3kmの広がりがある。草花丘陵との間には平井川、加住丘陵の間には秋川が流れる。平井川と秋川が削って出来た河岸段丘が発達し、段丘崖からは湧水が流出している。この豊かな自然環境のもとに、多くの遺跡が分布し、有形・無形の文化財が今に残されている。

【前田耕地遺跡(日本最古級の縄文遺跡)】野辺1ほか

- ・東京都指定史跡(昭和63年2月)
- ・草創期の出土品：国指定重要文化財(平成2年)埋蔵文化財センターで一括保管
- ・旧日本住宅公団の団地建設に先駆け昭和51年～同59年発掘調査。
縄文時代草創期(約15,500年前)から古代にいたる数々の遺構・遺物が出土し、各時代にわたり集落が断続的に営まれていた事が分かった。
※詳細は別添資料参照

【二宮神社】二宮2252

祭神：国常立尊(コトダチミコ) 『日本書紀』の一番最初に登場する神

創建：不詳

沿革

- ・往昔は小川大明神または二宮大明神と称されていた。小川大明神とは鎮座地が武蔵国多摩郡小川郷の地域内にあった為。(930年代成立の『和名抄』による) また二宮大明神とは武蔵総社六所宮(現大国魂神社)の祭神の第二の座にあるためその地名も二宮と称した。明治3年二宮神社と改称。昭和17年郷社に列格。
- ・古記録によると藤原秀郷(俵藤太)が939年の天慶の乱(平将門追討)に際し当社に戦勝祈願、乱平定の奉賽として社殿・玉垣を造営し社領を寄進。
- ・源頼朝社領千石寄進。
- ・北条氏政(四代目小田原城主)五百石寄進。その弟北条氏照(滝山城主)の祈願所となる。
- ・天正19年(1591)徳川家康よりご朱印15石を受け、以後代々の将軍に継承された。

行事：・元旦祭 1月1日 ・筒粥の神事 1月15日 ・節分祭
・秋季例大祭(生姜祭り) 9月9日(生姜、里芋、牛の舌餅の神饌)

都指定旧跡：二宮神社並びに城跡(大正15年5月)

市指定有形文化財建造物：本殿 宮殿(平成18年12月)

市指定有形民俗文化財：算額絵馬(平成28年3月)

市指定天然記念物：フジ ヤナギ(昭和50年11月)

境内外末社：・伊勢神社・八幡神社・八雲神社・天神社・諏訪神社

・稲荷神社・荒波々伎神社・社宮社(通称 おしゅもじさま)

その他：境内からは縄文時代から中世までの遺物等が多く発掘されている

(二宮考古館展示)

御手洗池(お池)：水源は南西隅にあり、湧水量が多く、いかなる旱魃にも水が涸れたことがない。古くから灌漑用水など人々の生活の助けとなってきた。

【参考：『秋川市史』『西多摩神社誌』】

【二宮考古館】二宮1151

開設 平成2年8月6日

施設概要 構造：木造モルタル造り平屋

建築延べ面積 337.12㎡

展示室面積 132.20㎡

ホール面積 62.79㎡

収蔵庫面積 105.76㎡

市内の発掘調査で出土した土器や石器を中心に約150点の考古遺物を展示



ご挨拶

市民解説員はあきる野を愛し、わがまちわが地域の自然・歴史・文化の再発見に努め、地域における生涯学習の推進を図るため、地域で活動する学習ボランティアです。

あきる野市は自然や遺跡の宝庫といわれています。この恵まれた環境のもとで、地域の皆さんとふれあいながら、私達は自らを高めるために学習し活動を進めています。

今後とも宜しくお願い致します。

【担当解説員】 内田廉平 奥泉 榮一 高森やす子

第3図 遺構配置図 S=1/2,500

